

平成29年度 静岡県中部地域道路啓開検討会 道路啓開訓練を実施 ～南海トラフ地震に備え、関係機関が連携した円滑な道路啓開の推進～

- ◆日 時：平成29年11月16日（木） 9：30～12：00
- ◆場 所：JR東静岡駅周辺市有地（静岡市葵区長沼：東静岡地区）
- ◆参加機関：静岡国道事務所、静岡県、静岡市、静岡中央警察署、自衛隊静岡地方協力本部、静岡市消防局、静岡建設業協会、静岡県建設コンサルタント協会、静岡県解体工事業協会、日本建設機械レンタル協会静岡支部、静岡県レッカー事業協同組合、静岡県石油商業組合、中部電力(株)、(株)NTTフィールドテクノ
- ◆参加者：15機関、180名（ほか一般見学者：25名）

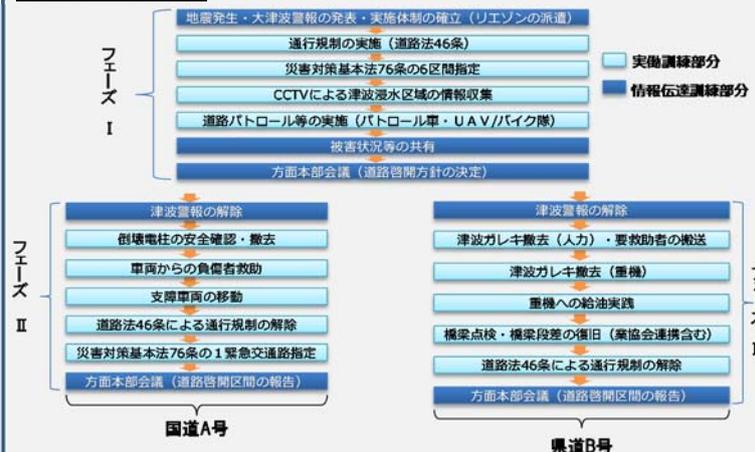
訓練目的

- ◆広域的な大規模地震における初動の災害対応に関する一連の流れを検証し、連携に関する課題抽出と対応策を検討する。
- ◆実働訓練により、対応手順や関係機関の活動を確認し、連携の強化を図る。

訓練想定

- ◆南海トラフを震源とする巨大地震により静岡県内で震度7～6弱、大津波警報が発表。
- ◆倒壊電柱、多重事故車両、橋梁段差、津波ガレキの堆積が発生し、地域の国道や県道では道路の寸断が発生。

訓練の流れ



フェーズ1：発災後ただちに通行止めを実施し関係機関と連携した被災調査を実施



警察と連携した交通規制（道路法46条）



静岡市バイク隊による被災状況調査



建設コンサルタント協会による協定に基づくUAV調査



関係機関で状況を総括し方針を決定

フェーズ2：国道で発生した多重事故での救助、車両移動を行い緊急交通路を確保



静岡建設業協会による倒壊電柱の除去



多重事故現場に静岡市消防局が到着



消防による事故車両からの負傷者救助



協定に基づき県レッカー事業協同組合が車両を移動

フェーズ3：県道に堆積した津波瓦礫の撤去、橋梁段差の復旧、業協会の連携を確認



津波瓦礫からの要救助者（遺体）の搬出



県解体工事業協会による津波瓦礫の啓開



業界連携により県石油組合による重機への給油



静岡建設業協会による橋梁段差の復旧